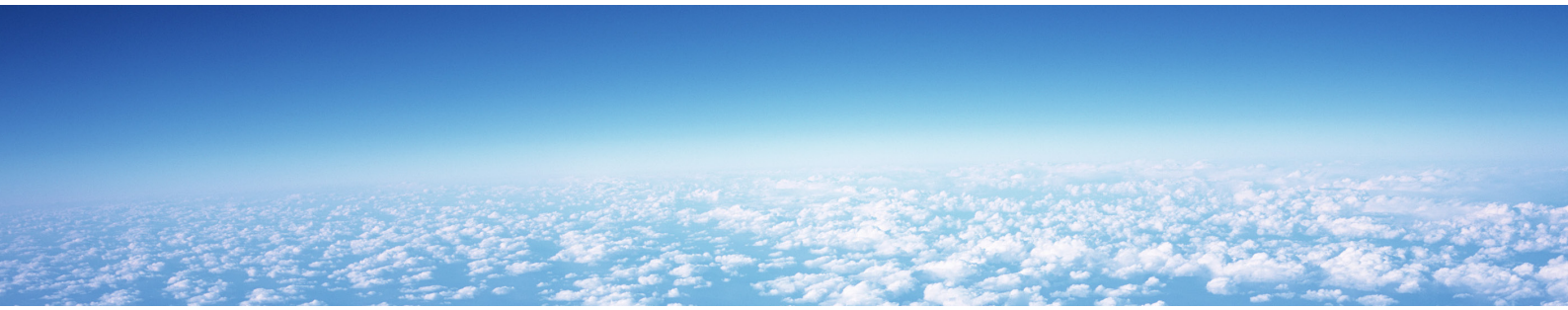
未来志向、世界の一流技術を求めて、今を革新する

計測技術

株式会社レックス

簡易取扱説明書



超音波試験器

ティコ

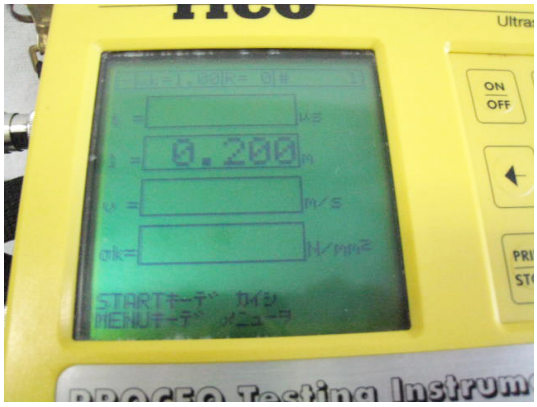
©REX CO.,LTD.

1. 測定条件

- 測定対象の材質：コンクリート
- 校正方法：テストピースを用いての校正

2. 測定準備

1. 写真のように本体･ケーブル･トランスデューサーをつなぎ､ON ／ OFF キーを押します。



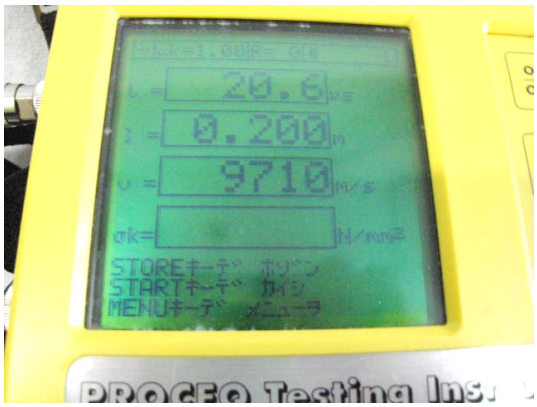
©REX CO.,LTD.

2. 付属のテストピースにカプラントを付け、トランスデューサーを当てます。

注記

※ テストピースの超音波伝達時間は 20.6 μ s です。
※ 実際には手で軽く押し付け滑らないようにトランスデューサーを安定させます。

3. START ／ RESET キーを押し、しばらく待つと下のような画面が出ます。

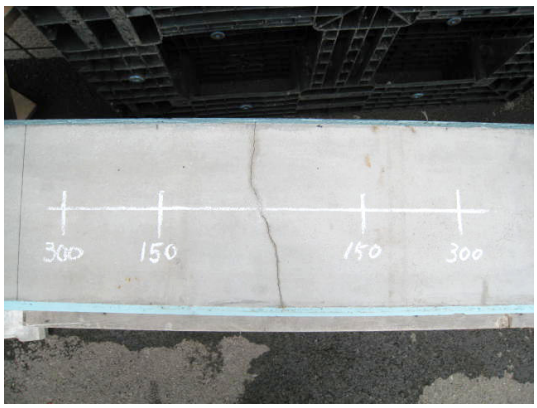


注記

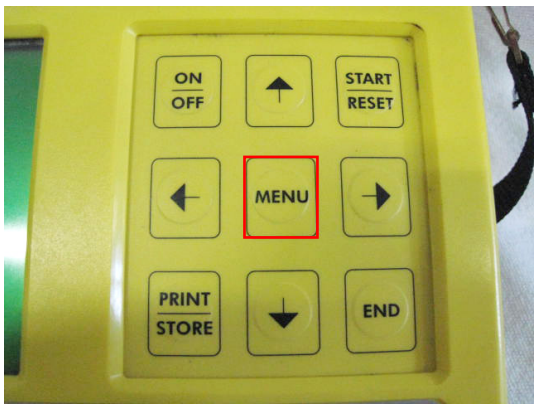
テストピースの超音波伝達時間 t は 20.6 μ s なので、画面には t ＝ 20.6 μ s と出ます。誤差は± 0.2 μ s です。

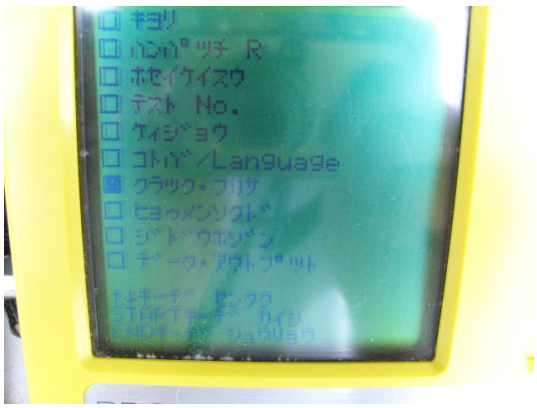
3. 測定開始

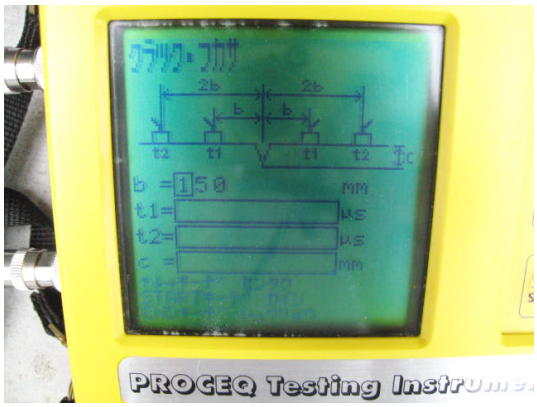
1. 測定箇所の鉄筋を避け、ひびわれより距離 b と 2b のところに印をつけます（b ＝ 150mm としています）。



2. MENU キーを押し、メニュー画面を表示させ、↑ ↓ キーで「クラック・フカサ」を選択し START ／ RESET キーを押し、距離 b ＝ 150mm と入力します。

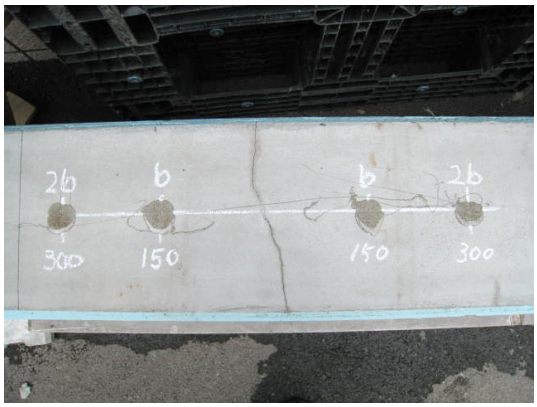


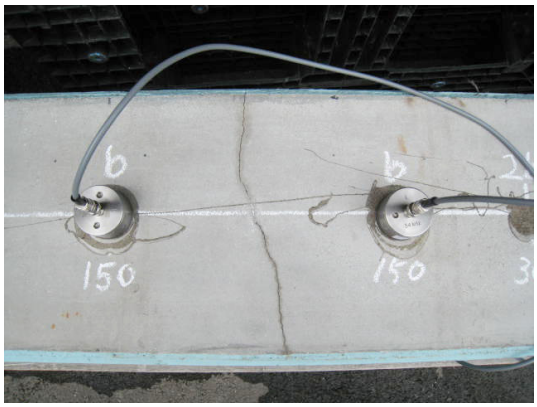




©REX CO.,LTD.

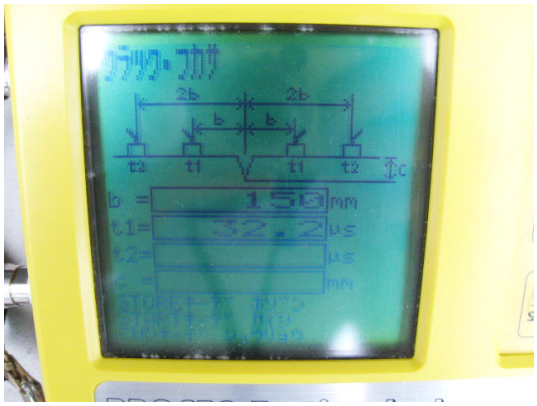
3. 距離 b の位置と 2b の位置にカプラントを付け、トランスデューサーを b の位置に当てます。





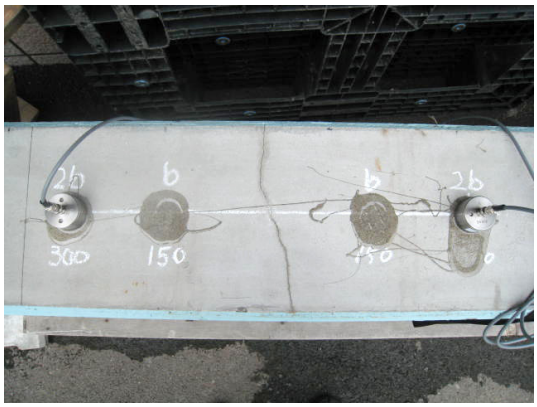
注記 なるべくトランスデューサーの中心が b の中心に来るようにし、手で安定させます。

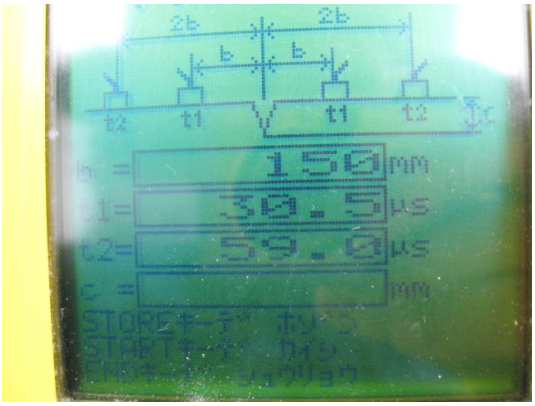
4. START ／ RESET キーを押して超音波伝達時間を計ります。



©REX CO.,LTD.

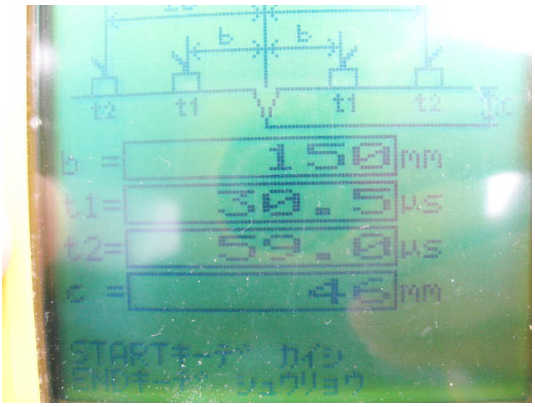
5. 距離 b の伝達時間計測 t1 が終了したらトランスデューサーを距離 2b の位置に押し当てます。
続いて PRINT ／ STORE キーを押して距離 2b の超音波伝達時間 t2 を計測します。





> **注記** なるべくトランスデューサーの中心が b の中心に来るようにし、手で安定させます。

6. 距離 2b の超音波伝達時間の計測が終了したら PRINT ／ STORE キーを押します。
ひびわれ深さ c が自動で計算され、表示されます。



©REX CO.,LTD.

©REX CO.,LTD.

未来志向、世界の一流技術を求めて、今を革新する
計測技術
株式会社レックス

株式会社レックス
〒662-0934
兵庫県西宮市西宮浜 3 丁目 29 番
TEL 0798-38-6363　FAX 0798-38-6300
http://www.rex-inc.co.jp/